

酪農とちぎ



2月15日購買利用推進女性研修会 講師：山田邦子さんと一緒に

1 ページ	表紙
2 ページ	平成 29 年乳代集計結果について
3～5 ページ	部課だより（指導企画課）
5 ページ	部課だより（購買企画課）
6 ページ	部課だより（生乳受託課）
7～8 ページ	東西南北（各支所）
9～10 ページ	理事会だより、お知らせ、 名誉農業士紹介、市場成績
11 ページ	酪農とちぎ機構図
12 ページ	「第17回酪農まつり」パンフレット

「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト



平成29年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

生乳生産実績

平成29年の年間乳量は23万6444tの実績となりました(表1)。平成28年と比較すると99・4%であり、微減ながら同程

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量 (t)	12月出荷戸数 (戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
那須高原支所	8,408.6	8,631.9	9,082.4	9,111.4	9,126.1
宇都宮支所	8,751.0	8,890.0	8,960.0	9,025.7	9,082.7
県南支所	8,139.4	8,296.2	8,457.3	8,659.8	8,675.5
平均	8,388.2	8,584.3	8,918.2	8,997.1	9,017.3
前年比		102.3%	103.9%	100.9%	100.2%

度の実績を保っていることが伺えます。乳牛飼養動態調査では搾乳牛頭数は平成29年7月で前年を0・4%上回り、平成30年1月で前年を0・6%下回る結果となりました。しかしながら、一頭あたり乳量は前年比100・2%(表2)と着実に増加し、これらの要因に応じた年間乳量の推移であ

乳価

たことがわかります(図1)。

支払い乳価(図2)は、8月を除いて前年を上回りました。また、平成28年に引き続き4月分乳代精算より、組合の手数料単価を0・2円値下げし、2・60円とさせていただきました。乳代追加払い(需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、緊急酪農生産基盤拡充対策金、関東生乳販連期中値引き、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い)におきましては総

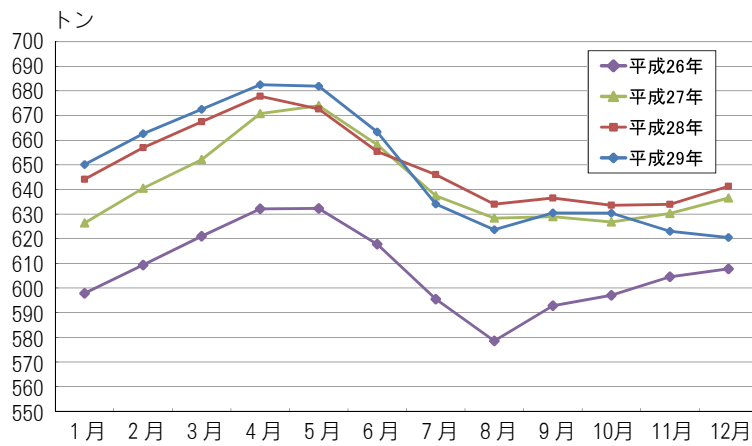


図1 日量の推移

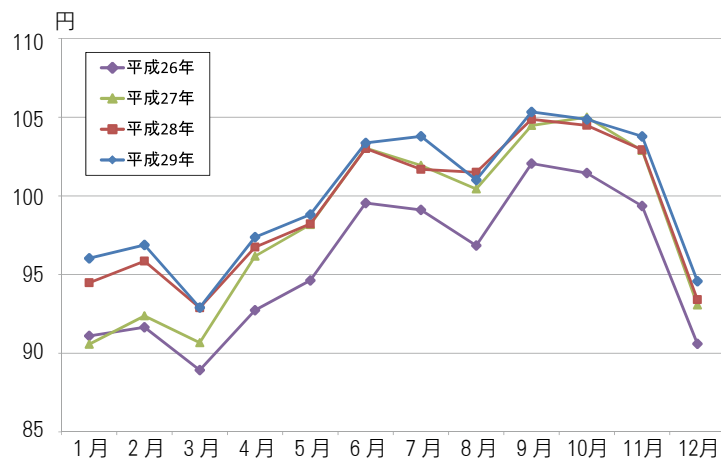


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)

乳代精算書集計表の変更点

額4億4676万お支払いし、年間乳量で除すると1・89円/kgお戻しすることができました。

- ・「乳代及び奨励金等の合計金額」の項目名を「乳牛販売代金」から「肉用化販売金」へ変更
- ・「乳質及び組合平均値との比較」に「乳代追加払い単価」を追加
- ・「乳質及び組合平均値との比較」の「1戸当頭数」、「1戸当乳量」、「1戸当乳代」を削除



部課だより

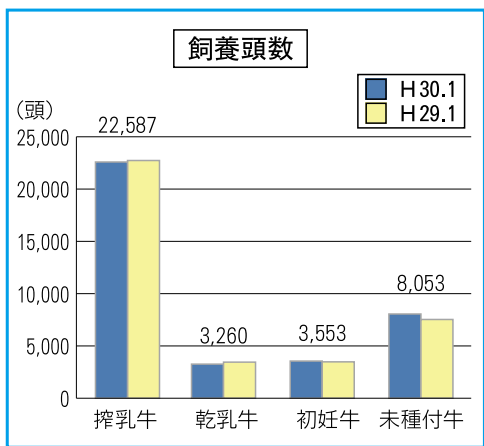
指導企画課

● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在での乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1 出荷者戸数・飼養頭数について

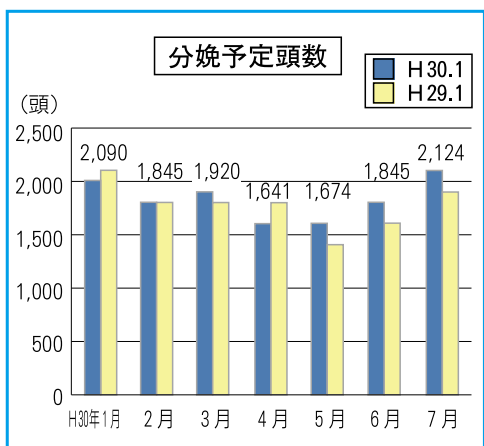
前年1月と比較すると酪農中止は18戸(団体公共を除く)となり、出荷者数は前年同月比4・1%減の421戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない10戸、経営不振1戸、病気療養その他7戸でありました。なお、酪農中止者18名の廃業時の合計飼養頭



2 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比1・3%減少し2万5847頭、自家育成牛は前年比0・1%増加し8151頭、外部預託牛は前年比20・4%増の3455頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は4・2頭増加し、89・0頭で前年に引き続き増加しています。

なお、搾乳牛は前年より0・6%減少し2万2587頭、乾乳牛は5・5%減少し3260頭でした。育成牛(自家・外部預託含む)の保有率は、1・39%増加し30・99%で合計1万1606頭となりました。



乳牛飼養動態調査表

(平成30年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数							合計	育成牛保有率(%)	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数							合計
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛						(カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は平成29年1月の実績頭数)							
			搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊	未種付牛	初妊牛	未種付牛					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
那須高原支所	H30.1	263	14,593	2,085	16,678	1,753	3,357	558	1,853	24,199	31.08	92.0	800	1,314 (137)	1,162 (135)	1,188 (140)	1,079 (140)	1,104 (147)	1,234 (178)	1,345 (171)	8,426 (1048)
	H29.1	276	14,679	2,149	16,828	1,792	3,468	566	1,386	24,040	30.00	87.1	893	1,359	1,215	1,189	1,169	954	1,130	1,214	8,230
	増減	▲13	▲86	▲64	▲150	▲39	▲111	▲8	467	159	1.08	4.9	▲93	▲45	▲53	▲1	▲90	150	104	131	196
宇都宮支所	H30.1	74	2,893	441	3,334	427	1,020	119	451	5,351	37.69	72.3	39	277 (48)	243 (33)	259 (46)	202 (30)	216 (32)	225 (37)	272 (39)	1,694 (265)
	H29.1	76	2,871	476	3,347	487	983	118	400	5,335	37.26	70.2	71	328	226	234	223	188	184	234	1,617
	増減	▲2	22	▲35	▲13	▲60	37	1	51	16	0.43	2.1	▲32	▲51	17	25	▲21	28	41	38	77
南支所	H30.1	84	5,101	734	5,835	577	1,017	119	355	7,903	26.17	94.1	30	499 (40)	440 (23)	473 (31)	360 (36)	354 (29)	386 (29)	507 (35)	3,019 (223)
	H29.1	87	5,181	826	6,007	415	994	100	299	7,815	23.13	89.8	24	454	389	397	415	330	374	458	2,817
	増減	▲3	▲80	▲92	▲172	162	23	19	56	88	3.03	4.3	6	45	51	76	▲55	24	12	49	202
小計	H30.1	421	22,587	3,260	25,847	2,757	5,394	796	2,659	37,453	30.99	89.0	869	2,090 (225)	1,845 (191)	1,920 (217)	1,641 (206)	1,674 (208)	1,845 (244)	2,124 (245)	13,139 (1536)
	H29.1	439	22,731	3,451	26,182	2,694	5,445	784	2,085	37,190	29.60	84.7	988	2,141	1,830	1,820	1,807	1,472	1,688	1,906	12,664
	増減	▲18	▲144	▲191	▲335	63	▲51	12	574	263	1.39	4.2	▲119	▲51	15	100	▲166	202	157	218	475
団体	H30.1	1	14	0	14	2	3	0	0	19	26.32	19.0	18	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
	H29.1	2	22	8	30	4	13	0	0	47	36.17	23.5	22	2	0	0	1	1	0	1	5
	増減	▲1	▲8	▲8	▲16	▲2	▲10	0	0	▲28	▲9.85	▲4.5	▲4	▲2	0	0	0	▲1	1	0	▲2
合計	H30.1	422	22,601	3,260	25,861	2,759	5,397	796	2,659	37,472	30.99	88.8	887	2,090 (225)	1,845 (191)	1,920 (217)	1,642 (206)	1,674 (208)	1,846 (244)	2,125 (245)	13,142 (1536)
	H29.1	441	22,753	3,459	26,212	2,698	5,458	784	2,085	37,237	29.61	84.4	1,010	2,143	1,830	1,820	1,808	1,473	1,688	1,907	12,669
	増減	▲19	▲152	▲199	▲351	61	▲61	12	574	235	1.38	4.4	▲123	▲53	15	100	▲166	201	158	218	473



3 分娩頭数について

平成30年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ475頭増加し1万3139頭となっております。単月で見ると、1・4月が昨年より減少（それぞれ2・4%減、9・2%減）しており、その他の月では一定のラインで増減しています。（月平均4・2%、最大は5月で13・7%）平成30年度上期の乳量動向は、見かけ上の分娩頭数は期間を通して多いものの、初妊牛頭数が昨年比較で75頭程度の増に留まっており、搾乳牛・乾乳牛がそれ以上に減少していることから、平年並み〜微減の傾向で進むものと思われれます。今回調査で大きく増加した育成牛（未種付牛）が生乳生産の増にリンクしてくるのは、しばらく先となる見込みです。

4 その他

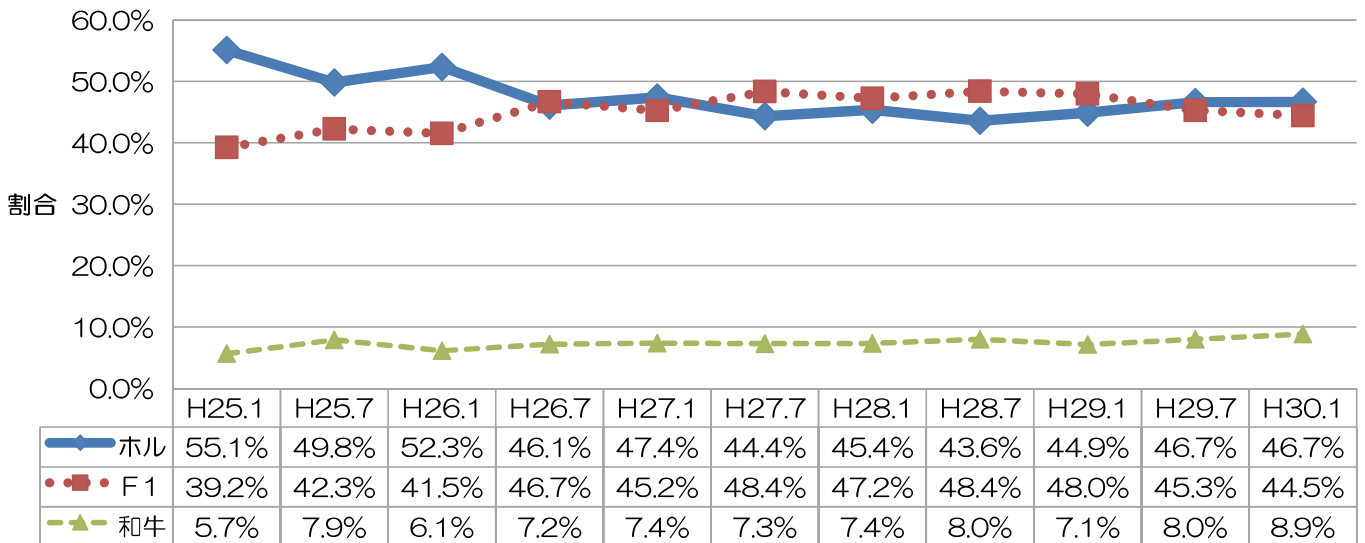
平成25年1月調査から、今回の調査までの全11回分の、畜種別種付け動向をまとめましたので、お示しします。

平成25年1月期のホルスタイン種付け率は55・1%と現在水準からするとかなりの高率となっております。東電の原発事故影響によって枝肉・初生牛相場が下落した

ことが大きな要因であると思われる。その後相場の回復によってF1種付けが増加し、ホルスタイン種付けが減少しています。その後ホルスタイン初妊牛の相場高騰や、各種補助事業・組合単独事業による性別別精液への助成などによって自家産牛を確保する考えが増えた事から、44%まで減少したホルスタイン種付けが回復基調となっております。

今後の初妊牛相場も、天井が見えないような価格上昇基調となっており、自家産牛の確保が今以上に重要になってくると思われる。補助事業等により補助を受けることができる性別別精液をうまく活用しながら、効率の良い後継牛生産が必要となってくるでしょう。

【畜種別 授精割合】



●青年部本部研修会の開催

2月23日、酪農とちぎ青年部本部（山本訓部長）主催による研修会が総勢52名参加のもと、栃木県農業共済組合塩谷支所にて開催されました。12月に行われた女性会全体研修会での講演が好評でした全酪連購買生産指導部酪農技術研究所猪内勝利氏を講師にお招きし、「とっておきの哺育技術！」と題し、講演をいただきました。講演では、出生直後の子牛を管理する上での重要なポイントについて解説いただきました。特に寒さの厳しいこの時期においては、子牛の体温管理がその後の成長を決定付けてしまうほど重要であるとのことで、部員の皆様は熱心に聞き入っておられました。ほかに、正しい初乳給与方法や哺乳ロボットを用いた集団哺育技術についても詳しい解説をいただき、大変有意義な講演となりました。

青年部本部では、部員の皆様の



経営の一助となるような活動を実施していきたいと考えています。部員の皆様から「こんなことをやって欲しい」等、ご意見やご要望がありましたら、お近くの本部役員までご一報ください。



▶全酪連猪内氏による講演

購買企画課

●平成29年度購買利用推進女性研修会

女性研修会

2月15日、ホテル東日本宇都宮に於いて総勢約二百名の参加のもと、平成29年度購買利用推進女性研修会が開催されました。

今回は、タレントの山田邦子さんをお招きし「大丈夫だよ、がんばろう!」という演題で講演会を開催いたしました。

十一年前に乳がんを患い、克服された経験をもとに『健康のためには免疫力を高めることが一番、口角を上げて、笑顔で過ごしましょう』と話されました。大きな声を出す練習や、全員で童謡を歌うなど会場を巻き込んだユニークな内容で笑いが絶えず、大いに盛り上がりました。伝説のバスガイドのものまねネタも披露していた



山田邦子氏による講演

だき、約一時間の講演でしたが、あっという間のひと時となりました。

その後の懇親会は、組合長、各メーカー代表の方々からの挨拶に続き、副組合長の音頭による牛乳での乾杯で開宴となりました。

しばしのご歓談とお食事の後は、「メインイベント」(?!）皆様お楽しみの抽選会です。当選した方の番号とお名前が呼ばれると、ご本人と近隣からは喜びと羨望の歓声が沸き起こり、会場がひときわ盛り上がりました。

今回も沢山の笑顔の中、無事に開催出来ました事、心より御礼申し上げます。

また、購買事業につきましても皆様のご意見・ご要望にお応えできる様、一層努力して参りますので今後共よろしくお願い致します。



懇親会での歓談風景▲▶



生乳受託課

平成30年2月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し95.9%（1万7789t）と、7月以降8ヶ月連続し前年を下回る状況です。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万1629t（前年比96.8%）、宇都宮支所2275t（同93.8%）、県南支所3885t（同94.4%）となり、出荷者数は、前年同月より18戸減の419戸（内、学校は1校）でした。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率3.95%（前年差+0.02%）、無脂固形分率8.86%（同+0.01%）、体細胞数20.79万（同+0.76万）と前年同月と同等の成績となりました。尚、2月迄の不合格件数は844件と前年同期858件とほぼ同数となっております。

関東生乳販連の2月総受託乳量は8万3612t（前年比97.2%）となり、本組合同様8ヶ月連続し前年を下回る状況となりました。

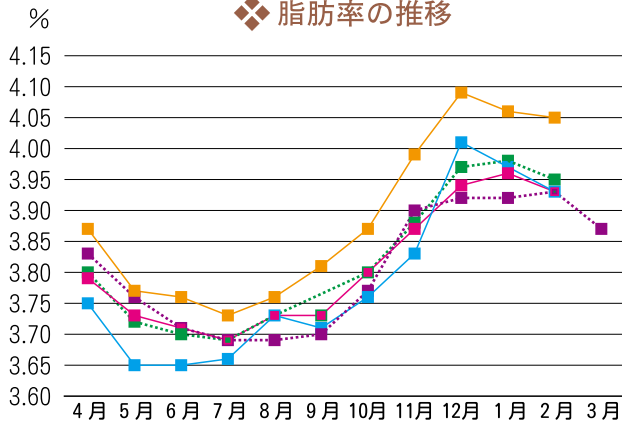
また用途別の販売数量は、生乳生産量減少の中、飲用牛乳向けは昨年同期の好調時から一巡したこともあり前年を下回り、特定乳製品向け、チーズ向けが前年を上回りました。

平成29年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

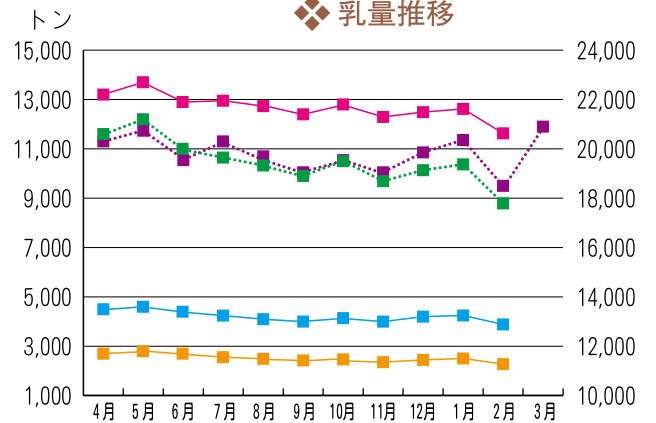
用途	2月度実績	前年同期実績	前年比	2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	64,726,830	66,599,656	97.2	758,830,028	763,976,027	99.3
(うち学校向け)	11,762,701	12,563,361	93.6	112,586,001	113,230,000	99.4
はっ酵乳向け	11,008,231	11,535,343	95.4	140,510,635	140,155,584	100.3
特定乳製品向け	6,240,247	6,189,929	100.8	72,953,936	81,748,055	89.2
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,586,298	1,654,018	95.9	16,861,370	18,377,521	91.7
チーズ向け	51,099	49,110	104.1	660,685	670,245	98.6
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	83,612,705	86,028,056	97.2	989,816,654	1,004,927,432	98.5
加工比率	7.46	7.20	-	7.37	8.13	-

2月の全国の生産量は、北海道が前年比102.5%と6ヶ月連続し前年を上回る中、都府県は97.8%と2ヶ月連続し前年を下回りましたが、北海道の順調な生産回復を受け全国の生産量は100.3%と2ヶ月連続で前年を上回りました。尚、平成30年2月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

◆ 脂肪率の推移

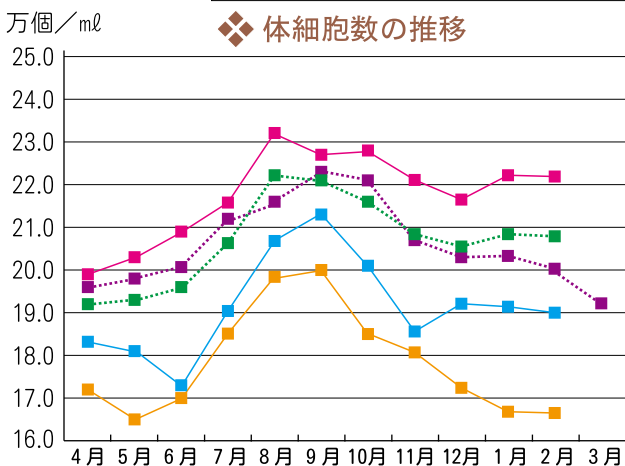


◆ 乳量推移

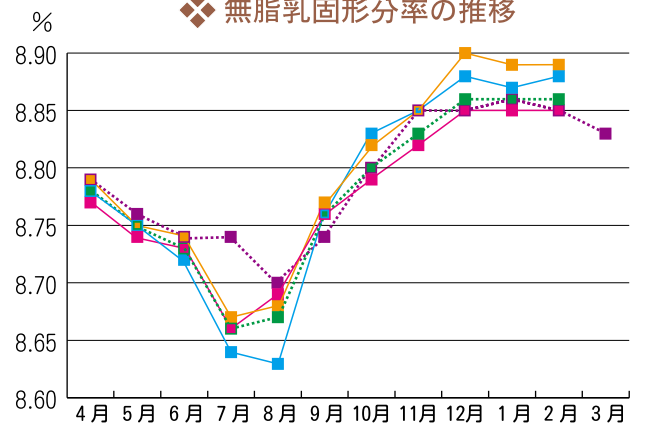


■ 那須高原 ■ 宇都宮 ■ 県南 ■ 平成29年度 ■ 平成28年度

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



東西南北

那須高原支所

ボウリング大会137名参加！

2月6日、那須高原支所活動推進協議会（藤田一義会長）主催による第16回ボウリング大会が、黒磯ボウル（那須塩原市）及び王冠ボウル（大田原市）の2会場において開催されました。

当日は、組合員とその家族・従業員などが参加し、和やかな雰囲気の中で2ゲームが行われ、各会場・各レーンともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

競技終了後は、榊原会館に会場を移し懇親会が行われ、臼井組合長より酪農情勢を含めた挨拶をいただき、懇親会が始まりました。会場内では、近況等情報交換をしながら、おいしい食事をいただき、各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。

また表彰式では、ボウリング場

ごとに団体賞表彰と個人賞表彰が行われ、関係団体から協賛して頂いた沢山の賞品が入賞者に贈られました。懇親会も大盛況のうちに閉会となり、参加された方は明日への活力に繋がる楽しい一日となったことと思います。

なお、各部の優勝は次の通りです。

●黒磯ボウル

団体の部 高林支部チーム
個人の部

男性 薄井 敬幸（青木）

女性 蓮見 京子（青木）

●王冠ボウル

団体の部 西那須野地区チーム



個人の部
男性 内田 卓（西那須野）
女性 豊田 裕美（西那須野）

宇都宮支所

支所協議会全体研修会を開催

2月26日、支所活動推進協議会（松井実会長）主催の研修会が、宇都宮支所に於いて開催されました。研修は、デイリィマン社東京支社編集部次長の齋藤丈士氏が「牛舎のフィードワークから見た都府県酪農の姿」と題し講演され、20名が受講しました。齋藤次長は、入社後にT P P交渉参加問題や、東日本大震災時の中央官庁取材を担当され、現部署では都府県酪農の取材を主に担当するなど、国の中枢から酪農現場まで幅広く取材をされています。講演では、それら「記者の目と耳」で見たこと聞いたこと、感じたことを話して頂きました。内容は、良質乳生産の取り組みをはじめ、畜産G A Pや農場H A C C P、暑熱対策、食品製造副産物の活用検討等について、



デーリィマン社の齋藤次長より講演

事例紹介を中心に説明を頂きました。特に、都府県酪農の取材を担当して思ったことは「最大の魅力は多様性」とのことです。家族経営・メガファーム・放牧・6次化主体と多様な経営が存在すること、それ自体が日本酪農全体の強みになるとのことでした。

最後に、受講者は今回の情報により、一つでも経営向上のヒントに繋がれば幸いと存じます。

ソリマチ農業簿記研修会

〜平成29年度は4回開催〜

担い手育成対策の一環として、



昨年度からソリマチ農業簿記による
 税務申告研修会を、年複数回に
 亘り開催しています。講師には長
 嶋電算代表の長嶋修一氏をお招き
 し、実際にパソコンを使用しなが
 ら、計画的に学習しています。本
 年度も4回開催しましたので、主
 な学習内容をご紹介します。

(実績は表の通り)

研修会	期 日	学 習 内 容
第1回	7 / 24	次年度更新処理 育成資産の自動振替
第2回	12 / 5	J A データ取込確認 元帳からの残高確認
第3回	2 / 5	決算仕訳・合計残高 試算表による決算残高 確認
第4回	2 / 27	決算書・消費税作成

平成 29 年度研修会実績

現在、宇都宮支所では常時7戸
 の酪農家が受講されています。こ
 の研修会の良さは、受講者全員が
 “酪農” という同じ職業であるこ
 とから、長嶋先生の講義と共に受
 講者同士が疑問点等について、話
 し合えることだと思えます。



ソリマチ農業簿記研修会

ソリマチ農業簿記研修会は、次
 年度も引き続き行いますので、未
 受講の方も興味のある方は、ぜひ
 宇都宮支所にご連絡下さい。

県南支所

女性会芳賀支部及び河内南部・

下都賀支部交流会を開催

ヨガ「健康体操で

元気になろう」

2月21日、女性会の芳賀支部(永
 嶋志保子支部長)と河内南部・下
 都賀支部(館野道子支部長)の合
 同交流会が、真岡市のフォーシー

ズン静風において開催されました。
 芳賀支部18名、河内南部・下都
 賀支部9名の計27名が参加し、今
 年度は益子町在住のヨガインスト
 ラクターである若林和枝先生をお
 招きし、簡単な体ほぐしと腰痛体
 操を教えていただきました。

はじめに永嶋支部長より「毎日、
 作業に追われる中、今回の体操を
 学んで腰痛・肩こりなどを予防
 し、これからも健康を保って欲し
 い」との挨拶があり、ヨガ教室開
 始となりました。

ゆったりとした音楽に合わせて
 気を整え、挨拶をしてヨガ教室が
 始まりました。初めはゆっくりと
 体を動かして体を動きに慣らし
 ていきます。座ったまま体を前屈し
 たり、寝そべって腰を左右にねじっ
 て動かしたり、普段やらないよう
 な動きに始めは「なかなか大変！」
 と参加された方たちは言っていま
 したが、徐々に体を動かしたり緩
 ませたりを繰り返すうちに、体が
 ヨガの動きに慣れてきて、「気持ち
 いい！」と言いながら笑顔でヨガ
 を楽しんでいました。



ヨガインストクター若林先生から
 指導を受ける会員達

最後に、二人一組になりお尻の
 筋肉のマッサージを足裏で行いま
 した。コツをつかむまでなかなか
 大変でしたが、慣れてくるととて
 も気持ちよく、普段の疲れがほぐ
 れてくるようでした。
 一時間半のヨガ教室はあっとい
 う間に時間が過ぎ、最後に先生か
 ら「うちでもできる簡単な体ほぐ
 し」を教えてください、気を整え
 て笑顔で終了となりました。
 体操終了後には、懇親会が行わ
 れ、美味しい食事を囲いながら親
 睦が深められ、大変有意義なひと
 時を過ごせたことと思います。



理事会だより

12月度理事会（12月28日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 関東生乳販連との契約について
- (五) 年末手当について
- (六) 組合プール乳価について
- (七) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について

- (八) 生乳生産管理チェックシート
記帳・記録について
- (九) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 平成29年度上半期決算監査報告に対する回答（案）について
- (三) 生乳受託規程の一部改正について
- (四) 固定資産の取得について（追認）

1月度理事会（1月31日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 特別管理未収金の報告について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (七) 乳牛飼養動態調査結果について
- (八) 子会社の第3四半期事業実績について
- (九) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
- (二) 規程の一部改正について
- (三) 固定資産の取得について（追認）
- (四) 組合と理事との契約について
- (五) ヘルパー補助金の一部返還について
- (六) 第17回酪農まつりについて

2月度理事会（2月28日）

報告事項

- (一) 組合員の加入・脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 役員報酬審議会答申について
- (六) 平成30年度生乳受託契約状況について
- (七) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 1月度事業実績について
- (二) 平成29年度割当量の超過・未達の取扱について
- (三) セファゾリンD「フジタ」使用牛損害賠償対策に関する今後の対応について
- (四) 固定資産の取得について（追認）



お知らせ



《組合員資格確認のお願い》

組合員の皆様の組合員資格に変動が生じた場合は、定款第14条の定めるところにより、書面にて当組合にお届けいただくことになっております。組合員資格に変動があった場合は、お手数ですが当組合の管轄支所宛に組合員資格の変更をお申し出いただきますようお願いいたします。

※組合員資格の変動

- 組合員資格喪失、氏名・住所の変更等
- 正組合員から准組合員又は准組合員から正組合員に資格が変動した場合等

《第17回酪農まつり》

【と き】

平成30年4月7日(土)

悪天候の場合は4月8日(日)に順延

【と ころ】

酪農とちぎふれあい牧場

(塩谷郡高根沢町下柏崎541)

※酪農まつり当日の組合業務

- CS業務・通常通り
- 本所及び各支所…休業
- (CS職員以外全員出役の為)



《平成31年4月新規採用職員募集》

【採用予定者】

平成31年3月末末大学・短大の卒業見込み者 若干名

【願書受付期間】

平成30年5月31日(木)まで

【採用試験日時】

一次(筆記)
平成30年6月上旬予定
二次(面接)
平成30年6月中旬予定

詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。

《職員人事》

定年退職(3月31日付)

総務部総務課係長

仲山 時子(再雇用)

退職者

経済部生乳受託課係長

森 享子

経済部生乳受託課 齊藤 美乃

経済部生乳受託課 大根田 正志

那須高原支所業務推進課

村山ハルノ

新規採用(4月1日付)

那須高原支所業務推進課

小林 萌子

定期異動(4月1日付)

【別紙】「酪農とちぎ機構図」のとおり

名誉農業士認定

平成29年度農業士・女性農業

士・名誉農業士認定式が1月9日

栃木県公館で行われ、農業士18名、

女性農業士5名、名誉農業士22名

が新たに認定されました。

本組合からは、農業士又女性農

業士として多年にわたり積極的に

活動され、農業の振興に尽力され

た次の2名の方が認定を受けまし

た。

名誉農業士

坂主 正さん(大田原市)

(配偶者 坂主ユキエさん)

人見みる子さん(那須塩原市)

(配偶者 人見 幸雄さん)

今回認定された2名には、心

よりお祝い申し上げます。

又、農業社会における農村地域

発展の為に更なるご活躍をお祈り

申し上げます。



人見さんご夫妻



坂主さんご夫妻

2月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位:千円(税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
根室	2月5日	202	171	84.7%	911	14	13	1,001
十勝	2月6日	528	467	88.4%	986	54	46	1,237
豊富	2月15日	272	215	79.0%	906	6	5	1,080
釧路	2月20日	278	258	92.8%	1,002	11	11	1,174
十勝	2月21日	528	505	95.6%	1,067	68	65	1,252
北見	2月22日	318	285	89.6%	1,040	5	44	1,075
合計		2,126	1,901	89.4%	985	158	184	1,137
前月		2,070	1,801	87.0%	885	178	165	1,048
前年同月		3,014	2,184	72.5%	890	242	194	1,046

初妊牛の今後の動向は6~7月分娩が中心となります。年末年始にかけて一旦落ち着いていた相場は、2月には急反発し昨年来の新高値をつけています。この高値は、道内地域においてクラスター事業を活用した牛舎が完成し初妊牛需要が急増した事に加えて、春産み需要が重なったのが主要因と考えられます。分娩まで3カ月以上前の牛の動きも見られ、育成牛・初生牛の相場も上昇基調です。導入を希望される方は腹条件・分娩月によって手に時間が掛かることも予想されますので、十分余裕をもってのお申込みをよろしくお願い申し上げます。

2月度 県内家畜市場成績 (単位:円(税込))

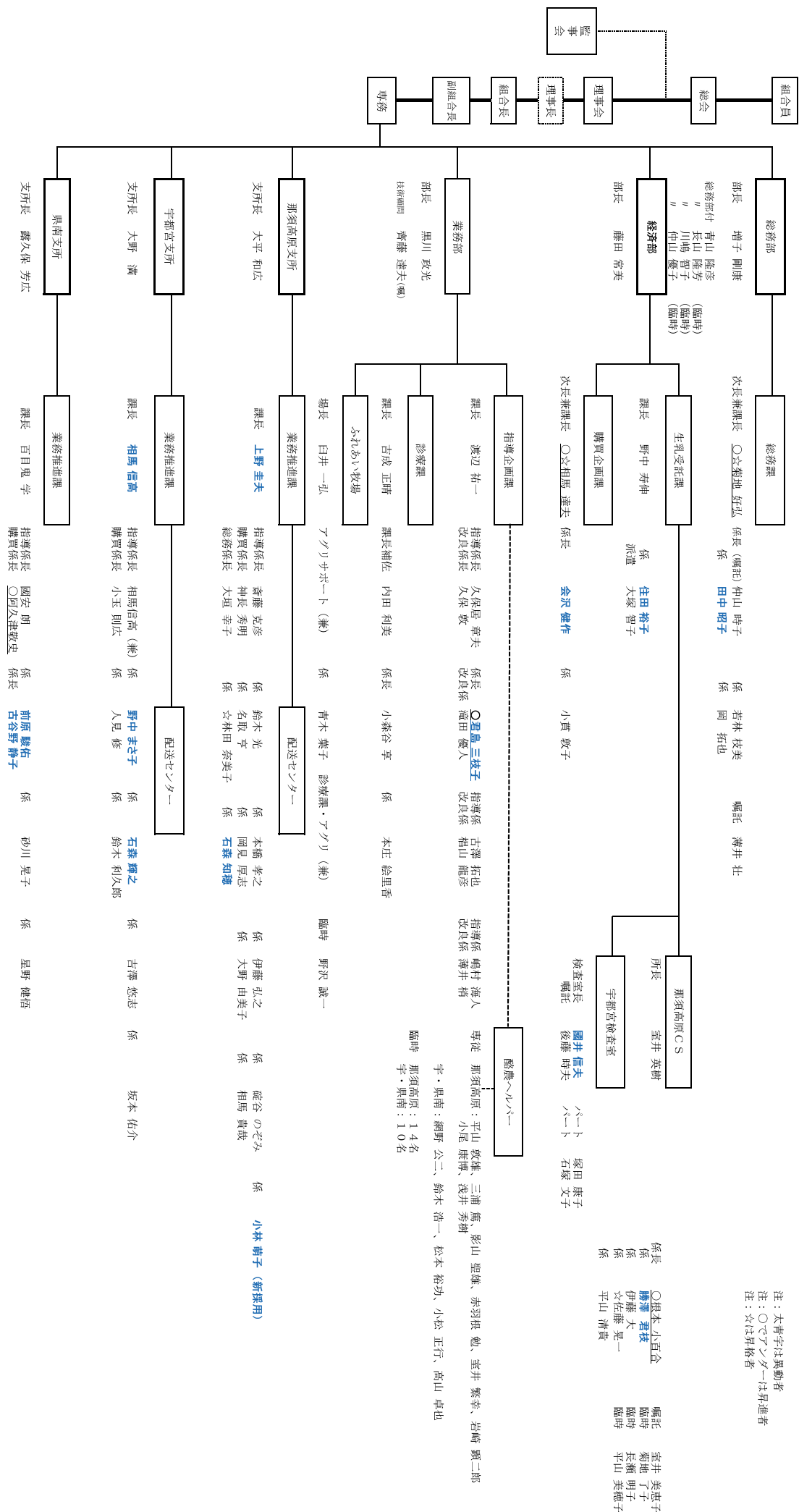
市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
	F1雄	85	61	357,480	127,440	261,500	22,024
	F1雌	48	58	245,160	96,120	178,020	8,132
館林(2/27)	ホルス雄	1	99	0	0	162,000	1,080
	F1雄	5	99	349,920	305,640	323,784	27,717
	F1雌	16	94	298,080	158,760	236,588	▲16,456

今回の初生牛取引価格は前回から比較し、おおむねやや強~強合みで推移しています。那須市場においては年初から1月末まで下落した平均価格が2月で概ね年初と同水準まで回復してきています。館林市場においては上場頭数も少ないことから、昨年からの開催毎に値動きを繰り返しつつ全体ではやや右肩下がりの価格となりました。今後も値動きをしながら、もちあい~微増で推移するものと思われます。



【別紙】

酪農とちぎ機構情図(平成30年4月1日着任)



「子会社」
株式会社酪農とちぎ
アグリサポート
(業務部所管)

酪農とちぎ

第17回 酪農まつり

(第17回ホルスタイン共進会併催)

ホルスタイン共進会

牛の美人コンテスト
沢山のホルスタインが集まります

4/7 (土)

10:00~14:30

農機具の展示

トラクターなど大型農機具が展示されます

模擬店

焼肉、綿あめ、ポップコーンの無料配布
ハム製品、焼きそば、うどん、そば
いちご、ジェラートなども販売しています

ふれあい広場

バター手作り、擬似搾乳体験、お菓子抽選会
落書きコーナー、完熟堆肥の無料配布



開催日 平成30年4月7日(土) ※悪天候の場合は翌8日(日)

場所 酪農とちぎふれあい牧場

栃木県塩谷郡高根沢町大字下柏崎541

開催または中止について

当日朝 栃木放送 5:57頃、6:35頃、7:52頃の3回放送予定